



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行: 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL: 045-511-3654 FAX: 045-511-3644
HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoi-ku/si-dou2/koukou/sfh/>

道路沿いのいちょうも黄色に染まり、寒さが身にしみる季節になり、今年も残り少なくなってきました。

11月22日(土)に「横浜サイエンスフロンティア国際科学フォーラム(ysfFIRST)2014」を開催しました。海外を含む参加生徒による「ポスターセッション」を行うなど、生徒たちにとって人生の財産ともいえるべき貴重な経験になりました。また、当日は「科学技術顧問会議」も開催され、顧問の皆様一人ひとりのサイエンス教育に対する大きな期待を感じ、様々なご意見を踏まえて、未来の科学者の育成に向け前に進んで参りたいと思います。

なお、今号には9月から12月まで行われる1年次生を対象に行われる特別講座である「GS(グローバル・スタディーズ)」全10回のうちの3つを紹介させていただきますので、ぜひご覧ください。

【GS(グローバル・スタディーズ) グーグルグラスが世界を変える】(10月10日)



10月10日(金)、本校の国際交流室で(株)JTB グループ本社 事業創造部 キャリア教育事業室 小林等氏を講師にお招きして、【グーグルグラスが世界を変える】というテーマで、お話をいただきました。

はじめにグーグルグラスに関する全体説明が行われ、その後のグループワークでは、「グーグルグラスをどんな場面で利用したいか?」、「グーグルグラスにどんな機能やアプリがあれば面白いと考えるか?」について考え、意見を発表しました。

実際にグーグルグラスを装着することで、それが10年後の社会をどのように変える可能性があるか、10年後の職業にどのような変化をもたらす可能性があるのかについて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

【GS(グローバル・スタディーズ) グローバル社会で生き抜く力】(10月25日)

10月25日(土)、本校の国際交流室でABIC(国際社会貢献センター)の真鍋忠夫氏を講師にお招きして、【グローバル社会で生き抜く力】というテーマで、講演をしていただきました。

世界で通用する人材になるためには、語学力だけでなく、物事をゼロベースから創り出す能力、ディスカッション能力など身につけることが大切だとおっしゃっていました。また、日頃から様々なことに関心を持ち、積極的に情報収集をして知識を増やすことにより、物に対する視野を広げることの大切さもおっしゃっていました。

いずれのお話も講師の実際の自身の経験に基づいて語ったものであるため大変貴重であり、受講生にとって今回の講演が今後大いに役立つ時がくるのではないのでしょうか。



【Windowsストアアプリ講座 作品発表会】(10月29日)



全10回のWindowsストアアプリ講座が、日本マイクロソフト社の協力で横浜サイエンスフロンティア高校を会場にして行われました。市立高校の希望者が参加し、10月29日(水)に日本マイクロソフト本社で作品発表会が行われ、ゲームから実用性の高い作品まで本格的なアプリを発表しました。

【特許出願】(10月31日)

課題研究授業であるSLII(サイエンスリテラシーII)において、本校2年次生の落合希美さんがゼニゴケの一種であるフタバゼニゴケからシソの香料成分であるペリラルデヒドを検出、抽出する研究を行い、特許を出願しました。

発明の名称は「フタバゼニゴケ抽出物または精油及び該抽出物又は精油を含有する香料組成物」です。

今回の特許出願に際して、徳島文理大学薬学部 浅川義範教授、高砂香料工業(株)様、明治大学農学部 中川知己先生にご指導、ご協力いただきました。ありがとうございました。

【第2回 学校説明会】（11月1日）

11月1日(土)に【第2回 学校説明会】を開催しました。

3連休の初日であり、また冷たい雨が降ったためか、参加申込者の当日キャンセルが意外に多く、残念に思っています。とはいえ、総計719名のご来校をいただき、説明会は盛況に終わることができました。ご来校いただきました皆さん、まことにありがとうございました。本校の特色をご理解いただき、入学を積極的に考えていただければ幸いです。

12月13日(土)にはオープンスクールを開催します。本校をより深くご理解いただく機会として、本校の特色ある活動、「土曜講習」で学ぶ生徒の姿を見学していただくことを中心に、「サイエンスリテラシー課題研究」や「海外研修」についての発表・報告、さらにサイエンス系の「体験学習」を用意して、みなさまのご来校をお待ちしています。(事前申し込みは必要ありません。)



【GS（グローバル・スタディーズ） 学研大人の科学「大人の科学が伝えたいこと」】（11月5日）



11月5日(水)、本校の国際交流室で(株)学研教育出版 大人の科学マガジン編集長の西村俊之氏を講師にお招きして、【学研大人の科学「大人の科学が伝えたいこと」】というテーマで、講演をしていただきました。

まず、今年の春に発売した「歌うキーボード」の開発に関するお話をされ、実際に商品を使い、それを今後どのように応用して利用できるか等をディスカッションしました。

その後、編集長が小学生の時に購読していた「小学生の科学」が果たしてきた役割、自己の経験から「理系」「文系」に分かれている日本の教育の現状に対する意見、そして、出版社に入社後に「小学校4年生の科学」を担当して理数の重要性を感じたこと、日本人に求められる能力とアジアに強い人脈が必要なことなどを語っていただきました。

フリーの質問セッションでは、生徒から「本校の校歌を歌わせることはできないか」との質問があり、実際にプログラムして歌わせることに成功しました。



【第22回 衛星設計コンテスト】（11月8日）

11月8日(土)、機械振興会館(東京都港区芝公園)で【第22回 衛星設計コンテスト】が行われました。当日は、全国からの書類審査を勝ち抜いた代表校による発表がありました。ジュニアの部では、高校生全8チームのプレゼンテーションとポスター発表が行われ、本校1年次の根本研司さんが「宇宙空間での洗濯と分解」というテーマで「ジュニア部門奨励賞」を受賞しました。

どのチームも独創的なアイデアやレベルの高い研究内容であり、今後、宇宙工学に進もうと志す高校生にとって、良い勉強の機会でもあったと思います。来年度からはさらに生徒に広く告知して、参加者を増やしたいと思います。



●今後の予定●

- ・2学期期末テスト(12月5日～10日)
- ・和田サロン(12月1日・18日)
- ・オープンスクール(今年度最終回)(12月13日)
- ・冬季休業(12月26日～1月6日)
- ・始業式(1月7日)